

令和元年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第73回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

令和元年6月1日(土) Aブロック 1回戦 富士北麓公園体育館 Bコート 第4試合

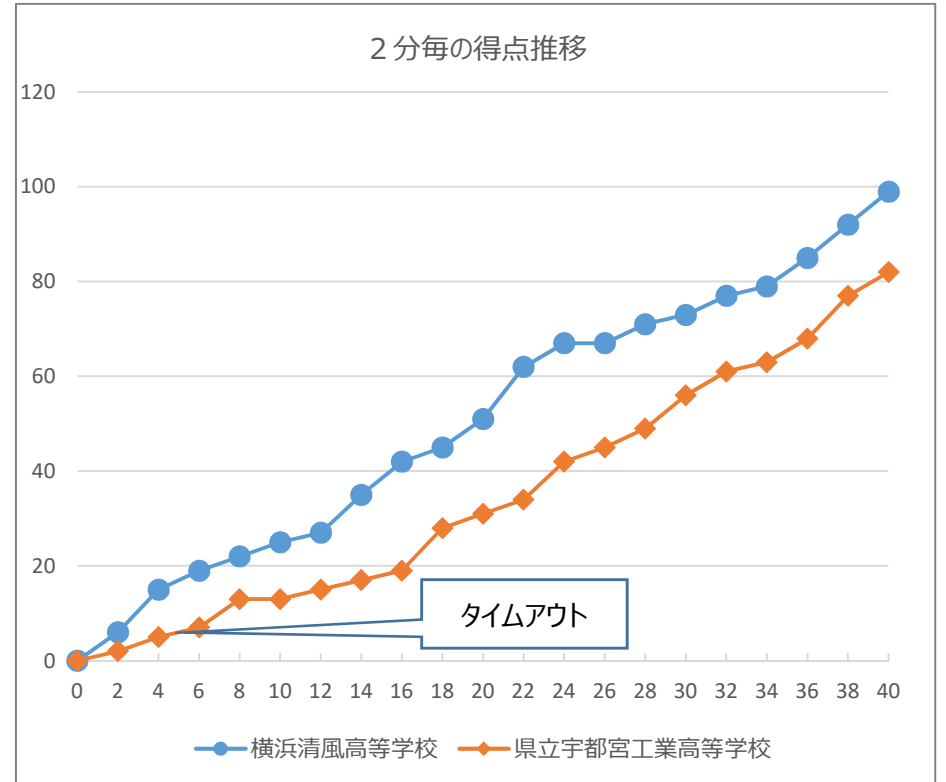
チームA		25	1st	13			チームB
横浜清風高等学校 (神奈川県)	99	26	2nd	18	82	県立宇都宮工業高等学校 (栃木県)	
		22	3rd	25			
		26	4th	26			
		OT					

Aチーム： 横浜清風高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		2	太田 律	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
2	*	6	須藤 タイル 拓	14	0	2	7	9	0	0	2	1	1	2
3		11	服部 真洸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
4		19	近藤 壮太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5		30	稲葉 良	6	0	0	2	7	2	2	1	1	1	2
6	*	31	榊 拳士朗	4	0	0	2	5	0	0	2	2	3	5
7		33	福井 隆之介	5	1	5	1	3	0	1	1	3	2	5
8		36	伊藤 港	9	0	0	4	10	1	1	2	3	1	4
9		45	薄井 隆法	3	0	0	1	1	1	2	1	1	1	2
10		55	武藤 拓郎	1	0	1	0	2	1	2	0	0	0	0
11		73	小原 翔馬	4	0	1	2	4	0	0	3	3	3	6
12	*	75	坂本 アサレ 暖	16	2	4	5	6	0	1	0	2	2	4
13		82	木原 岬	11	0	1	4	5	3	4	2	0	2	2
14	*	88	下原 大輝	8	0	0	4	6	0	0	1	2	3	5
15	*	00	金子 歩夢	16	0	1	7	14	2	2	2	1	3	4
HC/TEAM												0	4	4
合計				99	3	15	40	73	10	15	17	19	27	46

Bチーム： 県立宇都宮工業高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	安納 榛杜	6	0	0	2	2	2	4	3	1	1	2
2	*	5	吉原 怜勇	20	0	2	9	18	2	6	3	2	3	5
3	*	6	佐藤 弘真	6	1	2	1	2	1	1	0	1	1	2
4		7	千葉 僚大											
5		8	川和 千馬											
6		9	津川 駿平											
7		10	国井 唯											
8		11	津野 裕俊	6	1	4	1	3	1	1	3	1	1	2
9		12	永井 智佳滋	16	4	11	2	3	0	0	2	2	4	6
10		13	鈴木 聡汰	6	0	2	3	4	0	0	2	0	1	1
11	*	14	大出 雅輝	4	0	3	2	4	0	0	1	1	2	3
12		15	和久井 侑	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
13		16	穂積 洸	10	0	0	2	5	6	7	1	2	3	5
14	*	17	君座 武志	8	0	0	4	7	0	0	4	3	3	6
15		18	田中 風歩希											
HC/TEAM												0	1	1
合計				82	6	24	26	48	12	19	19	14	20	34



戦評

記事者：渡辺 文章 (山梨県高体連)

両チームマンツーマンでスタート。両者共に固さが見られるが、横浜清風が#6、#75らの能力あふれるオフェンスリバウンドからのセカンドショットで着実に加点。一方の宇工は1対1でゴールを狙うが、横浜清風のディフェンスに阻まれ、思うように得点することができない。残り4分58秒、17-5と横浜清風がリードしたところで宇工がタイムアウト。ここで横浜清風は、選手を全て入れ替え、ディフェンスをオールコートプレスからのゾーンに切り替える。対する宇工もゾーンプレスを仕掛け反撃を狙うが、点差は縮まらず、25-13横浜清風のリードで1Q終了。2Q、横浜清風はファーストユニットがオールコートでプレッシャーをかけるリードを広げる。横浜清風が残り3分30秒でセカンドユニットにすると、そこからは一進一退の攻防となるが51-31と横浜清風リードで前半を折り返す。3Q立ち上がり、横浜清風は落ち着いた合わせのプレーで得点を重ねる。これに対し宇工は#5にボールを集め徐々に加点し点差を縮める。4Qに入り、激しさを強めた宇工ディフェンスの前に横浜清風のファーストユニットのミスが増え、宇工が追い上げを見せる。しかし、試合の流れを変えるまでには至らない。宇工は#5の1対1や#12のアウトサイドなどで最後までゴールを狙うが、99-82と横浜清風が試合を制した。

主審	第1副審	第2副審
一色 渉 (茨城県)	古屋 勝司 (山梨県)	田中 翔馬 (山梨県)